



京都大学は1897年の創立以来、本年（2012年）で115年にわたる歩みを重ね、自由の学風のもと闊達な対話を重視するとともに、世界都市・京都において自主独立の精神を涵養し、地球社会の調和ある共存に貢献すべく、質の高い高等教育と先端的学術研究を推進してきました。

本学は、現在、およそ5,450名の教職員、22,800名の学生を擁し、10の学部、17の大学院研究科と専門職大学院を設置しています。加えて、国内随一の多様性を誇る14の研究所、高等教育・学術研究を支える20の教育研究施設等の他、附属図書館や医学部附属病院、世界トップレベル国際研究拠点形成促進プログラムに採択された「物質－細胞統合システム拠点」を有するに至っています。また、広く世界に開かれた大学として国際交流を進め、多くの留学生、外国人研究者を受け入れるとともに、より良い教育・研究環境の整備に努め、様々な共同研究や、ノーベル賞等の受賞者を多数輩出する優れた研究を推進しています。

私は「学問とは真実を巡る人間関係である」と常々考えています。学問は自分一人ではできないように思われがちですが、そうではありません。学問の成就には多くの人々の力が必要です。これを仏教では「縁りて起こる」という意味で「縁起」といいます。先人が宮々と築きあげた業績があり、それを継承し、授ける師に出会い、ともに研究を進める仲間やライバルとの切磋琢磨があつてこそ、文理を問わず、先端的な研究が可能となるのです。京都大学はこのような豊饒な人間関係が美しく綾なす大学でありたいと願っています。

現在、京都大学で行われている優れた人材を育成するための教育、真理を探究するための研究、多様で多岐にわたる社会貢献、並びに教養教育改革や入試改革といった、本学が強力に推進している国際化や機能強化のための大学改革の現状を分かりやすく皆様に紹介するため、毎年この「京都大学概要」を発行しています。また、京都大学ホームページ (<http://www.kyoto-u.ac.jp/>) では、大学の最新情報をお届けしています。

本冊子が皆様に京都大学をご理解いただく一つの手がかりとなれば幸いです。

平成24(2012)年7月

京都大学総長 松本 紘

